



地域学校協働本部だより

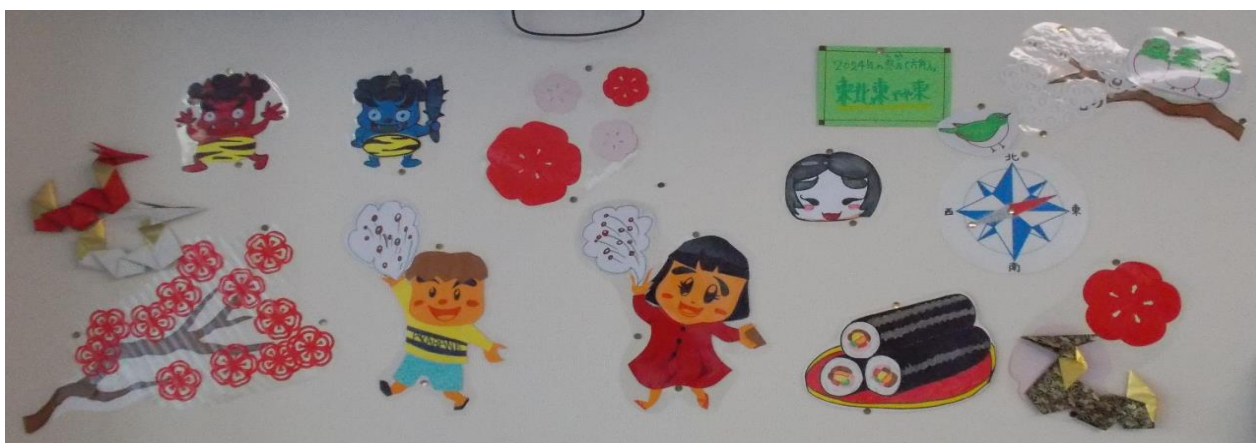
令和5年2月1日発行 NO.9

港区立赤羽小学校 校長 中村 美奈子
地域コーディネーター 石川 啓子
大蔦 淳子
地域学校協働本部担当 小林 砂織
湯浅 敬則

2月の玄関装飾

今月は、節分をテーマにした装飾です。寒い日々が続きますが、子供たちが体調を崩さずに元気に過ごしてほしいと思い、心を込めて作りました。子供たちが、元気よく鬼に向かって豆まきをしている様子や、鬼退治に向かう桃太郎とお供の犬・猿・キジを可愛らしく表現しました。

子供たちに節分を感じてほしいと願い、ボランティアさんは作成しています。ご来校した際は、ぜひご覧ください。



節分とは、

節分という言葉には、「季節を分ける」という意味があります。昔の日本では、春は一年のはじまりとされ、特に大切にされたようです。そのため、春が始まる前の日が新しい年との区切りの日として残り、冬と春を分ける日だけを節分と呼ぶようになったんだそうです。そこで、節分の次の日を暦の上で春が始まる日「立春（りっしゅん）」（2月4日ごろ）と呼びます。

節分は、一般的に無病息災を祈る行事で平安時代の「続日本書紀」には、陰陽師が来て禍や災難を祓い清める儀式と記されています。この時期は寒かったので無病息災を祈ったのでしょう。

なぜ豆は、炒ったものをまくの

落花生をまく地方があるのはなぜ？

色々な疑問を調べてみるのも楽しいものです。